

No. 12

1989 年

(平成元年)

同窓会より

— 彙 行 —

旭川莊厚生專門学院同窓会

岡山市祇園地先

TL (0862) 75 - 0145

—— 編集責任者 ——

同窓会会長 堀内 絹江



同窓会の発展を願って

堀内絹江 同窓会会長

みなさんお元気ですか。
この言葉を声にしてお伝えできない

のが残念です。というの

同窓会岡山支部結成の集い

平康元年3月現在

卒業生 總數 2,378名

保育料 665名

第1看護科 675名

第2看護科 1,038名

目標のお力添えで、盛大なる岡山支部結成を祝うことができました。江草学院長先生からの、暖かなお言葉に励まされ、岡山を母体に各地域に支部をと意気込んでおります。

また、創立二十周年記念行事への構想もそろそろ出ており、お手伝いできればと考えるものです。

学院長のバトンを受け継がれた阪本先生より、今後の展望をお聞きました。岡山支部充足をステップに、学院の展望に沿った活力ある同窓会にと願っています。

学院祭の場をお借りしての総会ですが、笑顔の花を持ち寄せ、会員相互のラポールを、再び通いあわせることができるのを楽しみにしております。

平成元年四月一日附
学院長 江草安彦先生
名譽学院長に御就任
学院長代理 阪本曉夫先生
第五代学院長に御就任

岡山支部結成の集い

支部長 西野順子

同窓生の皆様お元気ですか。

先般二月五日にカルチャール・ホテルにおきまして第一号として岡山支部が盛大に発会されました。その発会に際し、支部長という任務を、おおせつかりドキドキの一日でした。そんな私を支えて下さったのが、同窓会会長の堀内さん、事務局の先生方でした。その節は有難うございました。

旭川莊理事長でもある江草安彦先生の「しなやかな暮らし」と題しての記念講演、来賓に笹野先生、岡崎先生、山田先生の参加もありまして最後迄おつき合い頂き久しぶりに心暖まる時を過ごしました。

これを機会に、他方面の支部（地域）づくりをお勧めします。その結果は同窓会、ひいては母校の発展につながると思っております。我々も微力ながら、協力させて頂きます。十一月の総会には、多くの参加を望み支部の必要性について話し合えることを祈り、お待ち申し上げます。

第十八回学院祭御案内

日時 十一月四日(土)

五日(日)

統一テーマ

即麦林

「踏まれ踏まれて
強くなれ」

同窓会役員 本部役員

監事	佐藤 由香・猪原 正子
會計	山本 基子・羽井佐米子
書記	安達 文子・備中ひとみ
副會長	守屋 礼子・舞 繁子 小林十四恵
會長	堀内 綱江

同窓会の集い

昨年十一月六日の総会には多数出席あり盛会でした。近年出席者減少傾向で憂慮していましたが最近は次第に再び増加しつつあります。

皆様奮って御出席下さい。



同窓会總會御案内

日時 十一月五日(日)

十一時至十二時

場所	母校図書館
----	-------

○同期の方や、同じ職場の方をお誘い合せて多数御出席下さい。

ごあいさつ

学院長 阪本 曉夫

この度、数々の業績をお挙げになりました江草安彦学院長の後を承けて、はからずも私が学院長に就任することになりましたことは、誠に光栄に思いますとともに、重い責任と深い恐れを感じるのでございます。学院長という職が私にとって荷が勝ちすぎることは私自身が一番よく知っていますし、しかも、創立二十周年を前にして、学院の一層の拡充・発展を目指し、学院の「輝かしい歴史」を切り開いていくべき時期にあることを考えますと、責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。皆様の温かいお助けをいただき、何とか責任の万分之一でも果たしたいと願っていますので、どうぞよろしく願います。

十八歳人口の減少を目前にして、多角的な入学試験を実施すべき時が

学院だより

◎修学旅行

保育、福祉、第1看護科の二年生と第2看護科一年生が沖縄、北海道、東京、四国の四班に分かれ9月5日出発、それぞれ社会福祉施設・病院見学、交流を実施した。

◎キャンパスサービス

保育、福祉科一年生
10月20日 学院講堂
看護科一年生
10月24日 学院講堂

◎卒業演奏会

2月27日 県総合福祉会館
介護福祉士受験講習会

本年一月に第一回国家試験が実施

平成元年度在学学生数

学年	1年	2年	3年	合計
保育科	50	35		85
福祉科	37	51		88
第1看護科	89	81	93	263
第2看護科	57	51		108
総計				544

され、今後受験する者のための受験講習会(三日間)を八月中旬に二回開催し、多数の現場の方が受講されました。

来ていると思いますし、学院の教育研究体制の面を初め、全学科にコンピュータ教育を普及させることなど、学院として克服していかなければならない問題は山積しております。旭川厚生専門学院をより魅力ある学院とするための、教育内容の充実・改善の問題も重大な課題の一つであります。

まことに浅学非才の身でございますが、これを新たな学院創造のための絶好の機会と捉え、未来に向かってさらに価値あるものとするため、精いっぱい務めて、同窓の皆さまにも母校として誇っていただけますように、一層の充実・発展に努力いたしますのでございます。どうぞ学院のためにご支援いただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

人事異動について

◎退任の先生

看護科 岩崎多賀子 先生 御退職
〃 箱山孝子 先生 御退職

◎新任の先生

教務課長、学生課長、兼寮監
沖永 裕 先生
保育科 黒田とも子 先生
看護科 義村冷子 先生
〃 田中睦子 先生
主任研究員
石川 久 先生

同窓会岡山支部結成!!

元号が昭和から平成に移った二月五日に待望の同窓会岡山支部が結成されました。結成のために同窓会長を始め有志が昨秋から度々集まって色々準備をして県内在住の同窓会員に呼びかけました。

当日皆さん忙しい中を繰り合わせ



江草先生の記念講演

引続いて支部結成行事に移り堀内同窓会長から経過説明があり全員一致で支部結成を承認し、会則案、役員案、行事計画案など円滑に承認されました。

支部結成行事が終って出席者全員の記念写真撮影、懇親会場においてなごやかな祝宴が開かれました。久しぶりの会合に盛り上がり、旧部を囲み話はずみ、あちこちで宴会は大いに盛り上がり、なごりは尽きないが予定の時刻になったので再会と健闘を誓い合って幕を閉じました。

(同窓会事務局)

卒業生数

卒業回数 (年 月)	科	看護科		計
		第1	第2	
1回(48.3)	28		43	71
2回(49.3)	24		55	79
3回(50.3)	25		68	93
4回(51.3)	16		79	95
5回(52.3)	23		88	111
6回(53.3)	32		69	101
7回(54.3)	36		102	138
8回(55.3)	40		54	94
9回(56.3)	34	36	57	127
10回(57.3)	52	56	47	155
11回(58.3)	54	50	53	157
12回(59.3)	52	73	53	178
13回(60.3)	58	85	52	195
14回(61.3)	48	101	58	207
15回(62.3)	36	87	54	177
16回(63.3)	51	87	57	195
17回(元・3)	56	100	49	205

各科合計

保育科 六六五名
第1看護科 六七五名
第2看護科 一〇三八名
総計 二二七八名

◆おたより◆

保育科

保育科 大沢 千恵(鳥取県)
第4期生(旧姓 坂田)(智頭町)

保育科4期生のみなさん、療育園でいっしょだったみなさんこんにちは。学院のみんなは、名前をここで書いてもツルツルって書いてしまいたい。創立以来、最少人数のクラスでしよう。十八人でスタートし、十六人でゴールしました。みんなバイトで飯稼いだのか遊び飯稼いだのか、授業中よく寝ていました。二年間という短い間でしたが、楽しい思い出がいっぱいあります。現在とはいうと、二人の息子がいますが、保育らしい事は何もせず、仕事も全く違う方向へすすんでいます。毎年八月八日は会う約束をしています。このところ集ってないんだらうと思います。

個人的には岡山へ出かけていって何人か会いますが、今年は、それもまだです。機会をみて、また会いに行きますので、その時はよろしく。

保 育 科 片山 愛子 (総社市)
第5期生 (旧姓 堀江)

我家の息子も、やっとう？もう？四才になりました。食育のこと、寝ること、あそびごとにホントウに手がかりあります。毎日子どもとの奮闘ばかり。

五期生のみんながこういった生活ぶりでしょうか。卒業して、十年以上が過ぎ、みーんな三十才をこえてしまいました。早く結婚したマリーちゃん、三年生の子ともいえるお母さん、そして、何人かの人は、上の子が一年生になりました。幼稚園になりました。また、髪ふりみだしての子育で真最中の年代となりましたね。私たち、モチ、結婚はしないで仕事場にエネルギーを提供し、充実した日々を送っている友もいます。

このたび、原稿を依頼され、思いつきでペンを走らせている私の生活ぶりは……

結婚して、八年が過ぎますが、家族は夫と先に紹介致しました大一新とで三人(？)で暮らしています。……のんびりそうですが子ども劇場の専従者として仲々忙しくしているのです。それでも一日の仕事を終え息子と散歩をする時耳に入ってくる「ウシガエル」の鳴き声は、十二年前の学院生活を必ず、なつかしく思い出させてくれます。正直言って、今の私と学院をつないでいるものは、この「ウシガエル」ぐらいです。でも、やっぱり、学院のことが気になるのでしょいか締切りが過ぎてもこうして書いて出そうかと言う気になっていて、卒業して十二年やっばりなつかしい。みんな会いたい。同窓会だよりを利用して申し分けありませんが、この際かけはしなっていました。

ましよう！
もし、この私の文がたよりに載って、読んで五期生のみんなに私に電話下さい。同窓会の相談を致します。

〇八六六九(三)六三三九だよ！

保 育 科 澤山 静子 (真庭郡)
第6期生 (旧姓 森江) (落合町)

この度、原稿をとお便りを頂きながら返事が遅れてしまい申し訳なく思っています。結婚するまでは、特別養護老人ホームに勤務し、平凡な毎日を送っておりました。S・五九・三に結婚してからというものの毎年、私の身近にいろいろな起き平凡とは言えない毎日です。最愛の実弟が病に倒れ、二十三才で亡くなってしまいました。それから私の病気が、治ったかと思っている矢先S・六十三・五に主人が脳内出血で倒れ、右半身不全麻痺と失語症で、今は、毎日リハビリに頑張っています。学院を卒業する時、先生より結婚は早くとお言葉を頂きながらも晩婚の部類で、今四才と二才の子供をかかえ、この子らの寝顔を見る度に平穏な毎日が少しでも続くように願わずには居られない日々です。残されていることを大切にし頑張っています。最後になりましたが、皆様の御健康と学院の御発展をお祈りしペンを置きます。

保 育 科 土屋 敦子 (岡山市)
第7期生 (旧姓 石崎)

早いもので、卒業して十年が経ちました。保育科七期生のみなさんお元気ですか、仕事に子育てにと、それぞれの立場であつた汗を流し頑張っていることと思います。

私の方は、旭川児童院に勤め、早いもので本年十年を迎えています。同期生も旭川からいなくなり残念ですが、一人いすわっています。しかし、年々、たいへん(？)自分の勉強、能力不足にいや気がさすこともあります。

でも、まあ、なんとか頑張っています。今の仕事が好き。これがあるから、ここまでこれたのかなと思っています。

家庭においては、二男の母として、大声(?)をはりあげています。子育ても仕事同様で、たいへんだし難しいものですね。

今後、職場においては、なくてはならない存在にと、また家庭においては、太陽のようなそして賢い母をめざし、頑張っていると思っています。

七期生のみなさん、ぜひ、ぜひ、近々、同窓会をもちましよう！お元気です。

保 育 科 今脇 陽代 (備前市)
第7期生 (旧姓 大重)

皆さんお元気ですか？私は相変わらず牛窓ルンビニ保育園へ勤めています。子どもたちも七才(男)四才(女)と成長しつつはあありますが、仕事と家事と育児とに悪戦苦闘の毎日です。いつかゆっくり眠れる日がくることを楽しみにがんばっています。またゆっくりと会いたいですね。

保 育 科 植崎きみ子 (津和野町)
第8期生 (旧姓 繁田)

学院の皆様、諸先生方、そして、同窓生の皆様、たいへん御無沙汰しております。いかがお過ごしですか？私も、学院を卒業して、十年近くになりました。おかげ様で、一男一女そして、とても優しい主人に恵まれて、毎日をおすごしております。

今から思い起こしてみますと、学院生活がたいへん楽しい思い出になっています。また、同窓会にも行かせてもらおうと思っています。では、みなさん、お体を大切にまた会う日を楽しみにしています。

保 育 科 森本 清美 (岡山市)
第9期生 (旧姓 角南)

同窓会の皆様いかがお過ごしですか。

私は養護老人ホームに勤め、二才と、一才の子供は近くの保育園へお願いしております。陰湿な箱と無鉄砲な弟が友達と仲良く遊んでいるのを物影から見てるとホッとします。

しかし、この度の誘拐殺人事件の背景にある歪んだ知らない間にその中で育つ子供達を考えると育児に悩まないのか考えます。

社会環境・教育制度・食品添加物や交通戦争また家族のあり方などなど……

せいで変える事は出来ませんが、一人ずつ少しずつ変えて行きたいものです。

皆さんの子供が明るく心身共に健康に大きくなります様に。

保 育 科 高越 加代 (倉敷市)
第11期生 (旧姓 中村)

皆さんお元気ですか？どういいう訳か昨年に続いて今年もお便りするのになりました。

専業主婦も四年めを迎え、卒業してから施設での肉休労働(?)三年間で疲れたはずの若さと体力も確実に衰えをみせ始めています。

今の世の中、結婚しても働く女性が増えているとか……

子育てについてはいろいろな論議が交わされていますが、いざれにしても言えることはどんな人でも一日は二十四時間しかないということ。

その限られた時間の中でそれぞれ生活環境と自分自身のやる気を考えて「私の生活」「私の子育て」をすればよいのではないかと思います。

私の場合、仕事を辞めてとにかく我が子を育てることにした訳ですが、もともと横着で不器用ですから、あれもこれもと思うだけで何も出来ず、自己嫌悪に陥ることがしばしばです。子どもを育てるといふよりは子どもに育てられているというのが

実感です。子どもが生まれてから『三つ子の魂百まで』という言葉に、親としての責任をすつしり感じ、元保母という変な気負いがあつたような気がします。また仕事を続けている人達には、なんとなく焦りを感じ、羨ましく思うこともありました。

しかし、子どもが三才を過ぎた今、肩の力が抜け、楽な気持ちで、流行に流されず、マイペースでいこうとつくづく思うこの頃です。そして、早期教育子どもには早いうちからよい環境を、と書かれていたけれど、本当の意味でのよい環境づくりを心掛けていきたいです。

保 育 科 佐藤 由香 (岡山市)
第11期生 (旧姓 堀之津)

学院の先生方、保育科十一期生の皆さん、お元気ですか？私も元気でいます。早いもので、卒業して、七年も経つのです。あまりの早さに驚いています。私も、二人の子供の世話で、毎日、二十四時間がもったあつたなあ、と思うくらいです。保育科で習ったことは、時々、教科書を見ているが、ちょっと現実と離れていて、わからないことが多いです。

では、また、学院へ同窓会などありましたら、よろしく。

保 育 科 高木美恵子 (京都市)
第13期生 (旧姓 高原)

私が学院を卒業して、はや、五年になります。皆様、どのようにお過ごしでしょうか、結婚された方、母親になられた方も多いことでしょう。仕事に打ちこんでおられる方もいらっしゃるでしょう。

私は五年前、京都の精神薄弱児施設「白川学園」に就職しましたが、その後、結婚し、出産を機に退職、現在は、主婦業に専念しています。施設保母として障害児に直接、接したのは三年間だけでしたが、自分の選んだ職場で、自分のやりたい仕事を、自分

なりにやれたので満足しています。今でも時々「白川学園」には顔を出して、職員や、子供達との交流を続けています。今後も、何らかの形で障害児(者)と関わっていきたいと思っています。

さて、岡山の皆さん、お元気ですか、私は京都で頑張って子育てしています。時々、学院時代の楽しかった出来事を思い出しながら生きています。是非、同窓会でも開いて皆さんにお会いしたいと思っています。京都にお来の際は御連絡下さいね。

保 育 科 貞岡 洋子 (井原市)

皆様、お元気ですか？ はやいもので卒業して四年が過ぎました。

知らない土地で知らない人達と仕事をするのはとても心細かったのですが、それも園生さんたちの笑顔が日々はぐしくしてくれました。仕事の内容も毎年わずかながら変化があり楽しくやっています。

また、私的には仲間とボランティアグループをつくり地道ですが活動しています。今は公私共に充実した日々を過ごしております。皆様も、お体に気をつけて頑張って下さい。

保 育 科 中村 理恵 (倉敷市)

保育科十四期生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？ 私は、この四月から、再々スタートしたばかりです。というのも、卒業後、二年間、更生施設で働いたものの、力不足を感じ、所沢にある国立秩父学院附属保護指導員養成所の保育専修科を受験し、運よく合格。昨年四月に再スタートして、様々な事を勉強して、県内の新設施設でこの四月より、再々スタートしたというわけです。

の重要性です。人間相手の仕事だけに、痛感しています。仕事に熱中した為か、気付くと、二十四歳……。同期の二分の一近くは結婚しているとか……。

私は、三年越しのつきあいになる「NPO(NGO)のバイク」と、この夏もソローリングに行こうと思っています。美しいものを美しいと感じる心を忘れない為にも、そんな風景を求めて、走ります。とりあえず、公私ともに、着実に自分の道を歩いている。そんなかんじかな？ それぞれの道を、それぞれに、自分らしさを失う事なく進んでいける事を願っています。

なからんの近況報告以上です。

保 育 科 山崎ひとみ (邑久郡)

先生方第十五期卒業の皆さんお元気でしょうか。皆様には、それぞれに御活躍なさっていることと存じます。学院を卒業しては二年半が過ぎ、楽しかった学院時代を懐しく思っています。私は卒業後、津山の教護施設で寮母として、今年三月まで勤務していました。社会に出て、一人で生活することの大変さ、社会人としての仕事に對しての責任の重さを身にしみて感じました。両親の前では意地を張っていたけれど、一人で暮らしてみても親のありがたさというものを感ずりました。社会に出て、甘えた自分を成長させることが出来た。そしてそんな私を学院時代から助けてくれた彼と今年十一月に結婚することとなり、只今、花嫁修業中です。しかし、私は、一人っ子、彼は長男と今日までいろいろな問題がありましたが、嫁に行くことを許してくれました。両親にとっても感謝しています。そしてこの喜びはいつまでも忘れずしっかりと親孝行して新しい生活を送りたいと思います。結婚後も津山です。ので気軽に声を掛けて下さい。

いつかまた皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。どうぞお身体大切に元気で過ごして下さい。

保 育 科 西角 弘美 (和氣郡)

学院の先生方、保育科15期生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。早いもので私も学院を卒業し就職して三年目になりました。この頃時々、学生の頃がとてなつかしく思えるようになりしました。

私の勤務する岡谷学園も開設され三年目を迎えました。地域の中の施設として、地域と共に生きる施設をめざしさまざまな地域交流を行ってまいりました。今では藤野作業所もでき、今年から地域の中にある企業に園生を自主的に向けて職場実習に出しています。又、四月から後援会も発足しより充実した施設をめざしています。

私も三年目を迎えて未だに毎日、悪戦苦闘の日々を送っていますが、園生のくつたのくつたの笑い顔や心のつながりを持てた時の喜びは未だに私にとって心のささえとなつています。とにかく自分の体力のつくまで仕事への意欲を忘れないようにしていきたいと思っています。

最後になりましたが先生方、皆様方のご健康をお祈り申し上げます。

保 育 科 植上 育美 (香川県)

学院の諸先生方、そして同期生のみなさん、お元気ですか、私は香川県の豊島というところにある乳児院で現在少人数の子供たちと、一緒に生活しています。乳児院で働くというのは、私の中学二年のときの夢だったので、夢がかなった今は仕事がおもしろくてしかたありません。二年目ではやくも中堅というところですが、現在十人をお世話する人数の子供をかかえいつまで働かせてもらえるかちょっと不安ですが一杯がんばって働こうと思っています。卒業してはや一年余の月日がたちますが、乳児院に勤めて、子供たちの出会いもいろいろで、月日が長く経った子を送り出すときは涙々のつらい別れをする時もあります。けど、島の乳児院へきて後援することはありません。心強いことに友人と二人で力を合わせがんばっております。

それでは、皆様の御健康と御活躍を心よりお祈りしております。

第1看護科 岸本 文江 (岡山市)

こんにちは。久しぶりです。1看一期生の皆様は、いかがお過ごしですか？

治の病が、この真光の業でよくなったりしているんですね。現代の医学でどうにもならないものが……。病院のベッドで、死に直面している人達に、大きな希望となるんじゃないかしらと、頑張りたいところなんです。

私の方は毎日、仕事と家事に追われながらも、なんとか自分の時間をつくりだそうと必死にやっております。

子育ては、なかなか大へんです。三才の息子を相手に毎日、四苦八苦しております。子供の良い処をひき出し、のびのびと育ててやりたいと思いつつも、つい口やかましく言っている自分に気づきます。とにかく、元気で、人に迷惑をかけない子であってほしいと考えております。

女性として、母として、人間として、子育て、仕事を通して、もっと成長していきたいです。

第1看護科 太田 典子 (新見市)

皆様いかがお過ごしですか？ 先生方、同期生の皆さんには、大変お世話になり、ありがとうございます。本学院を卒業して早六年、私も地元の病院で田舎だからといってあけることなく頑張っているつもりです。

第1看護科 宮本 清美 (奈良県)
第3期生 (旧姓 佃) (生駒市)

卒業生の皆さんお元気ですか、卒業して五年余り、月日のたつのは早いものだとしみじみ感じています。看護婦生活を四年送り、今は結婚して奈良の方にきています。昨年、長男、裕也が生まれ、九月月になりました。最近やっとハイハイを始めました。のは、いいのだけれどいろいろなところに行き、引き出しをあけたり本間に目が離せません。毎日、育児に悪戦苦闘しています。子供を育てて始めて親の恩がわかるって言うけれど本当にそうだとしみじみ感じて

います。また、同窓会などで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。奈良にお来しの際は、ぜひいらして下さいね。それでは皆さんお元気で。(但 〇七四三七一三〇一〇四です。)

第1看護科 関念やよい (兵庫県)
第4期生 (加美町)

ただ今看護婦六年生です。学院の先生を始め、卒業生の皆様、元気で過ごして下さいますか？私は日本のへそといわれる兵庫県西脇市にある市民病院に卒後ずっと勤務しています。詰所は産科、眼科、ベビー室の混合病棟でベビー室に配属になり十ヶ月がすぎました。難しい器具器械とのにらめっこが続いてます。根っからの明るさでなんとかなる看護婦してます。この間突然、学院が見たくなり行くと、校舎が次々あの狭い土地に建っててびっくりしてしまいました。卒業生としてはうれしき限りですけれど、ますますの発展を祈っています。敬老園のみなさんお元気ですか？先輩達に会いたいです。

第1看護科 田中 睦子 (岡山市)
第5期生

この度、八月十日付で旭川市厚生専門学院看護科専任教員として勤務することになりました。田中睦子です。

私は、第1看護科五期生で卒業後は岡山大学医学部附属助産婦学校に進学し、岡山大学医学部附属病院産科病棟で三年間勤務しました。最先端の医療の中で学ぶうちに、私は助産婦として自然分娩に興味を持ち、今年の四月より助産院で勤務しました。六月末で退職しました。三ヶ月間でしたが、地域の中で生き生きと業務に携わっている助産婦の姿を学びました。助産院ならではの暖かい心のこもった援助を行っており、人との触れあいを大切にしています。自然なお産は、母親に赤ちゃんとの一体感、父親や家族との共同作業で生まれたという深い感激があるので

第1看護科 中司万寿美 (山口県)
第5期生 (旧姓 依) (山陽町)

今、こうして学院に戻り、お世話になった先生方に再び出会い、指導を受けながら過ごしています。とまどう事はばかりですが、私の学生生活、臨床経験を生かし、それを少しでも先生に伝え、私自身も学生から学び、楽しく意義のある学院生活を送りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

五期生の皆さんお元気ですか。結婚の為、川崎病院をやめ、地元市の市立病院に勤務して一年半がたちました。透析しか経験のない私が内科病棟(主に循環器、〇〇含む)に配属され、仕事に慣れるまでの何ヶ月間は心身共に疲れましたが、今では大変ながらもやりがいを感じています。当病棟では、主婦が多いせいか、みんなが協力しあい時間内の仕事をす

ませるように一生懸命です。ほとんど時間外をすることもなく結婚している者にとってはとても働きやすい職場です。(但し、時間内は休けないひまもなくハードですが！)このような職場で家事と仕事と両立して頑張ってきましたが、現在、出産の為、八月一日から休職中です。毎日そうじ、洗たく、ウォーキング(三十分位)と、太りすぎない為に頑張っています。

では皆さま、健康に注意して頑張ってください。またみんなで逢える日を楽しみにしています。

第1看護科 橋本弥寿子 (倉敷市)
第6期生

看護婦として働きだして、あっという間に三年が過ぎました。最初、手術室に配属になり実習経験のない私は、うそじゃないかと思いました。緊張でビーンと息をはりつめて、患者さんに精神的援助どころではありませんでした。

失敗また失敗と無我夢中で働いて三年が過ぎようとする時、まわりの人は、せっかく手術室の看護を身につけたのにもったいないと言われたが「やっぱり病棟で入院生活をしてる患者さんの看護をコミュニケーションを楽しみながらしたい」との思いがありました。やりたい事をやった方がいいと思病棟への配置転換を希望し今年六月より病棟で働いています。不安はいっぱいあったけれど二ヶ月が過ぎようとする今、希望を出してよかったという思いでいっぱい楽しく一年目のように働いています。

第1看護科 相沢 務
第6期生 (岡山市)

同窓生の皆さんお元気ですか。皆さんそれぞれの職場でお仕事に励んでおられることと思います。私も治療所に移り二年目を迎え、一日、二人前後の患者さんを先生一人、看護婦八人で診察、処置に当たっています。その他にも訪問看護、往診等、地域医療に従事しています。ところで、今年二月に生まれた我が家の香史里ももう半年が過ぎ、いろいろな物に興味を示し、語りかけてきます。主人も只今、福井県の学校でPTの資格を取る為、頑張っています。

又、十一月の学院祭でお会いしましょう。

第1看護科 柴田由佳子 (岡山市)
第9期生

学院の先生方、卒業生の皆様お元気でしょうか。早いもので学院を卒業して五ヶ月が過ぎようとしています。一緒に卒業した友人達は元気で頑張っているでしょうか。私は今、岡山県の保健婦学校での慌ただしい日々を過ごしています。公衆衛生看護について、演習や家庭訪問実習、集団指導実習等を通して学び、自分の未熟さが身にしみ、また看護の奥深さを感じています。また、もうすぐ保健婦実習、市町村実習が始まるうとして

います。余裕がなくなりつい「忙しい」と言ってしまうのですが「忙しい」とは心がなくなることを」という言葉を感じています。また会える日を楽しみにしています。皆様お元気で……

第2看護科

第2看護科 梶谷 光美 (岡山市)
第3期生 (旧姓 石井)

同窓生の皆さん、お元気ですか、お仕事に又家事、育児にと励んでおられることと思います。看護科三期生の皆さん、お久しぶり

第2看護科 後藤 律子 (熊本市)
第4期生 (旧姓 迫下)

です。卒業して早十四年の歳月が経とうとしております。秋になると金山の紅葉を、そして旭川の風景を懐かしく思い出して卒業したのは、ついこの前の様な気持ちさえてしまっていますが、それは、心の中だけのようで涙を見ればしみもしくも増え、年月の経過を感じる思いです。

卒業して一、二回看護科三期生の同窓会を行ないましたが、それっきりとなつてしまひ、同窓会発起人としては、とても気がかりです。集まりやすい状況となり次第、岡山の地で開催したいと思っております。良い案がありましたら、御一報下さい。では、お逢いできる時を楽しみにしております。

第2看護科 後藤 律子 (熊本市)
第4期生 (旧姓 迫下)

大変、御無沙汰いたしておりますが学院の皆様にはお変わりございませんか、何かとお忙しい毎日の事と存じます。また事務局の方々には大変お世話になります。

学生時代を思い出すと本当に、懐かしい事ばかり。現在、熊本県御船保健所に勤務し、保健婦活動をしております。健康や家庭訪問に追われあわただしい毎日でもあります。また我家には、四才と八ヶ月の男児がおり育児戦争の真最中へ多忙だけれど女性にとつては楽しい一時なのではと思いつつ、育児もいろいろと子供達に学ぶ事も多く、育自と頑張っております。ゆとりが出来ましたら、懐かしい学院、同窓会にもぜひ伺いたいと思っていますので……学院の増々の御発展を心よりお祈りいたします。

十月末には、家族が一人増える予

ペースでノと心に誓うのですが、な

うかと思ったことが。

(同窓会事務局)

回は岡山支部結成について特記をいたしました。